

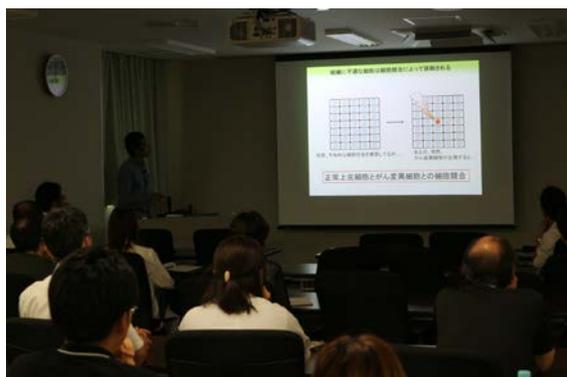
「腫瘍細胞生物学セミナー」を開催

2019年8月20日

8月20日（火）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、東京理科大学 生命医科学研究所 講師 昆俊亮 先生 をお招きして、腫瘍細胞生物学セミナーを開催しました。

セミナーでは、「発がん細胞競合」という演題で、細胞競合現象が発がん過程の初期に及ぼす影響について講演して頂きました。また家族性大腸腺腫症をモデルとした多段階発がんにおける細胞競合機能の変容に関して未発表データを含む最新の知見をご紹介頂き、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等 32 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



第1回 腫瘍細胞生物学セミナー

「発がん」と細胞競合」



2019年8月20日（火） 17:00 - 18:00

金沢大学がん進展制御研究所 4階 大会議室

東京理科大学 生命医科学研究所

講師 昆 俊亮 先生

上皮細胞層にがん変異細胞が産生されたとき、「細胞競合」と呼ばれる現象が生じ、上皮層より変異細胞は排除されることが近年明らかとなってきた。我々の研究グループは腸管上皮細胞に活性化 Ras 変異をモザイク状に発現誘導できるマウスを作出し、Ras 変異細胞が細胞競合により管腔へと排除されることを最近報告した。このマウスモデルの解析を深化させ、ヒト家族性大腸腺腫症で好発する APC→Ras の変異蓄積による細胞競合の機能変容について本セミナーにて議論したい。

【参考文献】

Kon et al., Cell competition with normal epithelial cells promotes apical extrusion of transformed cells through metabolic changes. Nat Cell Biol. 2017 May;19(5):530-541.

連絡先：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍細胞生物学研究分野

平田 英周 ehirata@staff.kanazawa-u.ac.jp (内線 6710)